アッラーからの褒美を期待して家人に費やすのならば、それは彼にとってのサダカ（施し）となる。

アブー・マスウード・アル＝バドリー（彼にアッラーのご満悦あれ）によれば、預言者（彼にアッラーからの平安と祝福あれ）は言った：「アッラーからの褒美を期
待して家人に費やすのならば、それは彼にとってのサダカ（施し）となる。」 [真正] [二大真正集収録の伝承]

アッラーへのお近づきを求め、アッラーの御許での褒美を期待して妻や子供などの扶養家族、あるいはそれ以外の者に費やすのならば、それによってサダカ（施し）の褒美を頂くことになる。それは貧者などに対するサダカという、善行としての褒美と同様のものである。

http://www.sunnah.global/hadeeth/ja/show/6460